

椿小学校保護者の皆様へ

阿南市立椿小学校長 清水 浩三

## 令和6年度学校評価結果について（報告）

平素より、本校教育にご理解ならびにご支援をいただき、誠にありがとうございます。さて、本校の教育を向上させていくために学校評価を実施しましたが、その結果についてご報告いたします。なお、本校ホームページ上にも掲載しておりますのでご覧ください。今後は、この結果を学校経営に生かしていこうと考えておりますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 【児童アンケート】

○プラス評価(「A:そう思う」と「B:やや思う」の割合)が100%だった項目

※「A:そう思う」の割合が高い項目を上位に表示しています。( )内が「A:そう思う」の割合

| 順  | 質問内容                                       | 割合             |
|----|--------------------------------------------|----------------|
| 1  | 4 運動会や遠足・バザーなどの学校行事は楽しい。                   | 100%<br>(100%) |
| 2  | 11 友だちの悪口を言ったり、いやがることをしたりせず、なかよくできている。     | 100%<br>(90%)  |
| 3  | 5 津波・地震・火事・不審者に出あったときなど、どうすればよいか学校で教えてくれる。 | 100%<br>(80%)  |
| 3  | 6 椿泊小学校や椿町中学校の人たちと交流するのが楽しい。               | 100%<br>(80%)  |
| 3  | 17 自分の住んでいる町が好きだ。                          | 100%<br>(80%)  |
| 6  | 7 自分からすすんであいさつができています。                     | 100%<br>(70%)  |
| 7  | 15 病気にかからないように、マスクをつけたり、手洗いをしたりできた。        | 100%<br>(60%)  |
| 8  | 1 学校に来るのが楽しい。                              | 100%<br>(50%)  |
| 9  | 10 自分の意見や考えをきちんと言うことができる。                  | 100%<br>(50%)  |
| 10 | 9 先生の話がきちんと聞いている。                          | 100%<br>(40%)  |

○プラス評価が80%未満の項目

※同じ割合の項目は、「A:そう思う」の割合が低い項目を上位に表示しています。

( )内が「A:そう思う」の割合

| 順 | 質問内容                          | 割合           |
|---|-------------------------------|--------------|
| 1 | 14 早寝・早起き・朝ごはんを心がけ、元気に過ごせている。 | 60%<br>(40%) |
| 2 | 8 忘れ物をせず、自分で学習の準備ができています。     | 70%<br>(10%) |
| 3 | 13 本を読んでいる。                   | 70%<br>(30%) |

○児童アンケート全18項目中、プラス評価(AまたはB)90%以上が13項目(昨年度11項目)、80%以上が15項目(昨年度と同じ)で、上記の10項目が100%(昨年度6項目)であった。

○前年度に続いて100%の項目は、「学校に来るのが楽しい。」、「運動会や遠足、バザーなどの学校行事は楽しい。」、「先生の話がきちんと聞いている。」、「友達の悪口を言ったり、いやがることをせず、なかよくできている。」、「自分の住んでいる町が好きだ。」の5項目だった。

また、新しく「津波・地震・火事・不審者に出会った時など、どうすればよいか学校で教えてくれる。」、「椿泊小学校や椿泊中学校の人たちと交流するのは楽しい。」、「自分からすすんであいさつできる。」、「自分の意見や考えをきちんと言うことができる。」、「病気にかからないように、マスクをつけたり、手洗いをしたりできている。」の5項目が100%となった。

○プラス評価が80%未満だった「早寝・早起き・朝ごはんを心がけ、元気に過ごせている。」，「忘れ物をせず、自分で学習の準備ができています。」，「本を読んでいる。」の3項目は、前年度から、それぞれ-40%，-13%，-13%と低くなっているが、他の項目は昨年度よりプラス評価の割合がほぼ同じか高くなっている。

○児童のアンケートの記述内容には次のような回答があった。

- ・陸上の練習でハードルを3歩でとべるようになった。
- ・マラソン記録会で最後まで走りきった。
- ・考える算数などをがんばって仕上げた。
- ・国語の学習でお話の内容を考えるのをがんばった。
- ・体育の時や交流の時に下の学年の子に声をかけたり，教えたりして面倒を見るのをがんばった。これからもみんなをまとめていくようにしてがんばりたい。

### 〈児童アンケート考察〉

アンケート結果を総じて見ると、全18項目のうち15項目が80%以上のプラス評価であり、児童が前向きに学校生活を送ることができていると推測される。椿町中学校区の小学校、中学校との交流や保護者や地域の方々の協力を得て行った行事に、児童が目標を持って取り組むことができた成果が様々な面で表れていると考えられる。

昨年度に比べマイナス評価であった3項目については、読書では多読賞を設けて表彰したり、早寝・早起き・朝ご飯ではメディア使用時間のアンケート調査を実施し、呼びかけを行ったりするなどの取組を進めたが、成果として表れなかった。この結果を真摯に受けとめ、対策を考え改善に取り組んでいきたい。

### 【保護者アンケート】

○プラス評価(「A:そう思う」と「B:やや思う」の割合)が90%以上の項目

※「A:そう思う」の割合が高い項目を上位に表示しています。( )内が「A:そう思う」の割合

| 順 | 質問内容                                       | 割合             |
|---|--------------------------------------------|----------------|
| 1 | 8 学校行事は児童にとって有意義なものになっている。                 | 100%<br>(100%) |
| 2 | 7 学校(学級)だより、HPなどを通して、学校の取組や児童の様子がよく伝わっている。 | 100%<br>(80%)  |
| 3 | 1 学校は、保護者や地域の思い・願いを大切にしている。                | 100%<br>(70%)  |
| 3 | 2 学校はいじめのない学校(学級)づくりをしている。                 | 100%<br>(70%)  |
| 5 | 15 学校は、町内の小学校・中学校との連携に積極的に取り組んでいる。         | 100%<br>(50%)  |
| 6 | 5 学校は「わかる授業」づくりに努めている。                     | 90%<br>(40%)   |
| 7 | 4 学校は防災教育を推進している。                          | 90%<br>(30%)   |

○プラス評価が80%未満の項目

※同じ割合の項目は、「A:そう思う」の割合が低い項目を上位に表示しています。

( )内が「A:そう思う」の割合

| 順 | 質問内容                               | 割合           |
|---|------------------------------------|--------------|
| 1 | 13 お子さまは家庭で、学校のタブレットをよく活用している。     | 30%<br>(0%)  |
| 2 | 12 お子さまは、家庭でよく読書をしている。             | 30%<br>(10%) |
| 3 | 6 学校の授業はICTを活用した教育によってわかりやすくなっている。 | 40%<br>(10%) |
| 4 | 10 お子さまは、よくあいさつができています。            | 60%<br>(30%) |
| 5 | 11 お子さまは、家庭学習に集中して取り組んでいる。         | 70%<br>(10%) |

○保護者アンケート全17項目中、プラス評価(AまたはB)90%以上が7項目(昨年度9項目)、80%以上が12項目(昨年度11項目)で、上記の5項目が100%(昨年度4項目)であった。

- 前年度に続いて100%の項目は、「学校は、保護者や地域の思い・願いを大切にしている。」、「学校（学級）だより、HPなどを通して、学校の取組や児童の様子がよく伝わっている。」、「学校行事は児童にとって有意義なものになっている。」の3項目だった。
- また、新たに「学校はいじめのない学校（学級）づくりをしている。」、「学校は、町内の小学校・中学校との連携に積極的に取り組んでいる。」の2項目が100%となった。
- プラス評価が80%未満だった「お子さまは家庭で、学校のタブレットをよく活用している。」、「お子さまは、家庭でよく読書をしている。」、「学校の授業はICTを活用した教育によってわかりやすくなっている。」、「お子さまは、よくあいさつができています。」、「お子さまは、家庭学習に集中して取り組んでいる。」の5項目は、前年度から、それぞれ-12%、+5%、-10%、-24%、+4%で、微増した項目もあるが、3項目は10%以上低くなった。

### 〈保護者アンケート考察〉

アンケート結果を総じて見ると、プラス評価が80%以上の項目数は前年度とほぼ同じであるが、90%以上の項目が2項目減っていることや、50%以下の3項目が前年と同じで改善できていないことが課題として挙げられる。「あいさつ」については、児童アンケートではプラス評価100%であり、児童と保護者の間で認識に差がみられた。家庭や地域からも、あいさつがしっかりできていると思っただけのように指導する必要があると考えられる。また、一般的に、読書をする児童としない児童の二極化が進行している中で、80%以上のプラス評価を達成することは容易ではないが、プラス評価の割合を増やしていけるように、改善案を考えていきたい。家庭でのタブレット活用の促進やICTを活用した「わかる授業」づくりについても、取組は進めているものの、児童の発達段階や教職員ICT活用力により、児童や保護者に改善が伝わりにくかったと考えられる。効果的なタブレット等のICTを活用した授業づくりや課題の与え方の研修を行い、改善に取り組んでいきたい。

### 【教職員アンケート】

- プラス評価(「A:そう思う」と「B:やや思う」の割合)が100%かつ「A:そう思う」の割合が70%以上の項目

| 順 | 質問内容                                        | 割合            |
|---|---------------------------------------------|---------------|
| 1 | 14 児童一人ひとりを大切にした教育が展開されている。                 | 100%<br>(89%) |
| 1 | 18 日々の取組や児童の様子を、学校（学級）だよりやHP等を通して保護者に伝えている。 | 100%<br>(89%) |
| 3 | 5 日々の教育活動について相談し合える。                        | 100%<br>(78%) |
| 3 | 12 いじめのない学校（学級）づくりをしている。                    | 100%<br>(78%) |
| 3 | 20 小小の連携や小中一貫教育を推進している。                     | 100%<br>(78%) |

- プラス評価が80%未満の項目

※同じ割合の項目は、「A:そう思う」の割合が低い項目を上位に表示しています。

( ) 内が「A:そう思う」の割合

| 順 | 質問内容                                               | 割合           |
|---|----------------------------------------------------|--------------|
| 1 | 22 効率のよい働き方を心がけるとともに、自分の校務を中心に学校全体を見渡し、業務改善に努めている。 | 67%<br>(22%) |
| 2 | 13 楽しくわかりやすい授業ができています。                             | 78%<br>(22%) |
| 3 | 9 健康な心身を保つための保健指導・食育指導を推進できている。                    | 78%<br>(45%) |
| 3 | 21 組織の一員として働きやすい環境づくりに努めている。                       | 78%<br>(45%) |
| 3 | 11 教育計画の共通理解が図られている。                               | 78%<br>(45%) |

- 教職員アンケート全23項目中、プラス評価（AまたはB）90%以上は15項目(昨年度19項目)、80%以上が18項目(昨年度22項目)であった。

- 前年度に引き続き、プラス評価100%だったのは13項目で、新たに「学校教育目標を理解し、その実

現に向けて努力している。」，「校内研修が計画的に実施されている。」の項目が100%になった。しかし，「健康な心身を保つための保健指導・食育指導を推進できている。」，「教育計画の共通理解が図られている。」，「学校行事は児童にとって有意義なものになっている。」，「自分らしい勤務時間外の過ごし方を工夫し，気分転換をはかることができている。」の4項目が，前年度の100%から下がる結果となった。

- プラス評価が80%未満だった「効率のよい働き方を心がけるとともに，自分の校務を中心に学校全体を見渡し，業務改善に努めている。」，「楽しくわかりやすい授業ができている。」，「健康な心身を保つための保健指導・食育指導を推進できている。」，「組織の一員として働きやすい環境づくりに努めている。」，「教育計画の共通理解が図られている。」の5項目は，前年度から，それぞれ+1%，-11%，-22%，-22%，-22%で5項目中4項目が10%以上低くなった。

### 〈教職員アンケート考察〉

概ね多くの項目で，成果を上げることができた。特に，「児童一人ひとりを大切にされた教育が展開されている。」や「学校教育目標を理解し，その実現に向けて努力している。」，「校内研修が計画的に実施されている。」の項目が100%であったことは，本校がめざす学校づくりに，教職員が自らの成長に努め，一丸となって取り組んだ成果と考えられる。

プラス評価が十分でなかった『業務改善』については，保護者にご理解いただき，『校時表の見直し』や『学年（学級）だより』の効率化等を行った。教職員の4月～12月の平均超過勤務時間は，17時間23分，最も多い教職員が29時間10分で，全教職員が45時間以内の目標を達成できている。しかし，教職員一人ひとりが多くの校務分掌を担当しているため，その処理に時間を費やし，全教職員への共通理解についてはやや雑になったことは否めない。また，保健指導については，養護教諭を中心に適切に実施しているが，食育指導は強化・改善できる部分はあると考えられるため，改善策を検討し実施していきたい。

### 《総合の考察》

全教職員が今年度の学校教育目標「人権尊重の精神を基盤に，『確かな学力』『豊かな心』『たくましく・しなやかに生きる力』をバランスよく身につけた児童の育成～安全で，子どもたち一人ひとりのびのびと育つ学校づくり～」を理解し，その実現に努めることができた。特に，小中の連携や小中一貫教育の推進，保護者・地域と連携した行事等への積極的な取組により，「ふるさとに誇りを持ち，笑顔と元気あふれる樺っ子」の育成を図ることができた。また，「保護者や地域の願いを大切にした」，「いじめのない」，「相談しやすい」学校づくりを進められていると評価していただいていることは，教職員にとってたいへん励みになっている。これからも「子どもファースト」の考えを，教職員や保護者，地域の皆様と共有して，児童一人ひとりを大切にされた，地域とともにある学校づくりを推進していきたい。

また，今年度プラス評価の低かった「ICTの活用」や「読書」，「早寝・早起き・朝ご飯」，「家庭学習への取組」等の項目についても，教職員全員で改善策を考え，家庭や地域のご協力をいただき取組を進めていきたい。